

日興グローバルREITファンド（6カ月決算型）

(マザーファンドの投資一任先：マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド)

ファンドの概要

設 定 日 2004年7月1日
 償 還 日 無期限
 決 算 日 原則1月5日、7月5日
 　　（休業日の場合は翌営業日）
 分 配 時 期 決算日毎

ファンドの特色

- 世界各国の上場不動産投信（REIT）を中心に投資を行ない、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得しつつ、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 原則として、年2回の決算時に収益分配を行なうことをめざします。
- マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドが運用を担当します。

運用実績

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

<分配金込み基準価額の推移>

— 分配金込み基準価額 — 参考指数（左軸）



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

※基準価額および参考指数は、設定日の前営業日を10,000として指數化しています。

※参考指数は、「S&P先進国REIT指数（税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）」です。

参考指数は、ベンチマークではありません。

※当参考指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。

<分配金込み基準価額のパフォーマンス>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
当ファンド	3.91%	-3.10%	-7.32%	3.76%	10.90%	68.73%	48.93%	271.12%
参考指数	4.17%	-4.17%	-8.98%	2.82%	13.23%	82.02%	63.51%	318.36%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資

したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	5,648円
当月お支払いした分配金	0円
要	不動産投信 174円
	アメリカ (85円)
	カナダ (9円)
	オーストラリア (38円)
	欧州 (16円)
	イギリス (11円)
因	その他 (15円)
	為替 55円
	米ドル (37円)
	加ドル (0円)
	豪ドル (7円)
	ユーロ (2円)
その他	英ポンド (4円)
	その他 (4円)
	その他 -8円
小計	221円
当月末基準価額	5,869円

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	23・1・5	23・7・5	24・1・5	24・7・5	25・1・6
12,890円	90円	90円	90円	90円	90円

基準価額 : 5,869円

純資産総額 : 5.38億円

為替ヘッジ : 原則として為替ヘッジは行いません。

※右記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。
 傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<資産構成比>

不動産投信	96.5%
現金その他	3.5%

※マザーファンドの投資状況を反映した
実質の組入比率です。

<組入不動産投信の予想分配金利回り(年率換算)>

ファンド全体	3.62%
地域別	アメリカ 3.54%
	カナダ 2.90%
	オーストラリア 1.14%
	欧州 4.84%
	イギリス 4.55%
	その他 5.12%

※予想分配金利回りは、当社が信頼できると判断したデータに基づき、月末時点での各組入不動産投信の予想分配金利回りを、マザーファンドの純資産額、または地域別の純資産額に対する各組入不動産投信のウェイトで加重平均した概算値です。信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）等は考慮されておらず、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<不動産投信 国別上位投資比率>

	国名	比率
1	アメリカ	71.7%
2	オーストラリア	6.5%
3	日本	6.1%
4	イギリス	5.0%
5	シンガポール	4.8%
6	スペイン	2.4%
7	香港	1.2%
8	ベルギー	0.8%
9	カナダ	0.7%
10	フランス	0.7%

※マザーファンドの状況です。

※比率は、対組入不動産投信時価総額比です。

<不動産投信 セクター別構成比率>

セクター	比率
特化型	23.5%
産業施設（工場等）	17.7%
ヘルスケア	16.0%
小売（商業施設等）	15.0%
住宅（マンション等）	13.9%
オフィス（ビル等）	5.3%
分散型	4.8%
ホテル&リゾート	2.7%

※マザーファンドの状況です。

※比率は、対純資産総額比です。

<不動産投信 組入上位10銘柄>（銘柄数 53銘柄）

	銘柄名	国	セクター	比率
1	EQUINIX INC エクイニクス	アメリカ	特化型	9.46%
2	WELLTOWER INC ウェルタワー	アメリカ	ヘルスケア	8.91%
3	GOODMAN GROUP グッドマン・グループ	オーストラリア	産業施設（工場等）	5.61%
4	PROLOGIS INC プロロジス	アメリカ	産業施設（工場等）	5.52%
5	VICI PROPERTIES INC VICIプロパティーズ	アメリカ	特化型	4.61%
6	PUBLIC STORAGE パブリック・ストレッジ	アメリカ	特化型	3.73%
7	VENTAS INC ベンタス	アメリカ	ヘルスケア	3.63%
8	SIMON PROPERTY GROUP INC サイモン・プロパティー・グループ	アメリカ	小売（商業施設等）	3.60%
9	AVALONBAY COMMUNITIES INC アバロンベイ・コミュニティーズ	アメリカ	住宅（マンション等）	3.18%
10	AGREE REALTY CORPORATION アグリー・リアルティ	アメリカ	小売（商業施設等）	3.10%

※マザーファンドの状況です。「比率」は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

※銘柄名は日興アセットマネジメントが信頼できる情報を基に和訳したものであり、正式名称と異なる場合があります。

※参考指標の変更に伴い、<不動産投信 組入上位10銘柄>のセクター分類につきまして、2015年6月30日現在のレポートから<不動産投信 セクター別構成比率>に合わせた分類に変更しました。なお、それ以前は、従来の参考指標のセクター分類を使用していました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

5月のグローバルREIT市場は上昇しました。

貿易政策に対する楽観姿勢、ボラティリティの低下、クレジット・スプレッドの縮小を受け、株式相場は反発しました。とはいえ、規制の不透明感や、新たな税制案、その他政府措置などにより投資への不安感が助長され、米10年債利回りの上昇につながりました。こうした課題にもかかわらず、米ドルは年初より大幅に低い水準で安定的に推移しました。REIT市場は、普通株式対比では大きくアンダーパフォームしました。

4月の「解放の日」以降、矛盾のある取り決めや訴訟が続く中、貿易交渉は継続しました。米政権は全ての貿易相手国に対し一定水準の関税を維持することに注力するという基本シナリオに変わりはありません。このため、夏にかけて各国との合意が成立し、下半期の景気回復と年末にかけての市場のモメンタム加速に向けた地固めが期待されます。

セクター別では、4月にパフォーマンスが最も振るわなかったオフィス、ホテル、産業施設などが好転しました。これらのセクターは「解放の日」の影響が最も大きいと見込まれていました。実際に、観光、雇用成長、国際貿易などを通じて経済的な影響を受けやすく、歴史的に見ても景気後退局面で減益に見舞われやすい業種ではありますが、当月は市場全体で安堵感が広がったことによる反発相場に連動して、これらのセクターの株価も上昇しました。

一方、当月はヘルスケア、移動住宅、ネットリースなど、4月に好調だったセクターのパフォーマンスが振るいませんでした。これらのセクターは投資期間が長い熱心な投資家に支えられており、短期的な市場の乱高下は、短期投資の機会を求めるヘッジファンドやジェネラリストによる売買が主流であることが一般的です。

欧州市場では、レバレッジの水準が低く、長期にわたる債務返済計画を立てて十分なヘッジ対策を講じていることにより、売上高の成長が借入コストの上昇によって損なわれない企業に関連した投資機会が存在します。堅実な経営陣は、金利が正常な水準に戻った場合でも債務コストを低く抑えることができるよう、債務を長期に分散し、急な変化に備えたヘッジ対策を講じています。

当月、当ファンドのポートフォリオはM&Aのニュースからの恩恵を享受しました。インターントが買収提案を受け、デジタルブリッジも買収提案を受けるのではないかとの憶測が広がっています。アメリカン・ヘルスケアは事前予想を上回る業績発表を受け、当月も好調を維持しました。

全体的には、進行中の関税交渉に付随する経済的な影響が未知数であるため、市場の先行き不透明感が高い状態であることに変わりはないものの、上場不動産はそのような状況においても堅調さを維持しています。

◎運用概況

主に産業施設、ビジネスパーク、物流物件に投資するシンガポールに本拠地を置くREITを、産業施設セクターへの投資比率を引き上げることを目的に購入しました。また、主要都市のオフィス物件を中心に投資する日本のREITを、バリュエーションの観点から追加購入しました。

一方で、首都圏を含む主要都市圏の高級オフィスビルに投資する日本のREITを、他の投資機会に振り向けるため一部売却しました。また、主要都市圏の高級賃貸マンションを中心に、住宅物件に投資する日本のREITを、他の投資機会に振り向けるため一部売却しました。

◎今後の見通し

当月、地政学的緊張や政策の先行き不透明感が広がる中においても、上場不動産は回復力を見せました。世界的な不確実性は日々変化していますが、不動産セクターに対する見通しは引き続き、慎重ながらも楽観的です。当ファンドはディフェンシブなポジションを取り、構造的要因や質の高い経営陣といった特徴から成長性の見込める銘柄を中心に投資を行うことにより経済的逆風を乗り越え、今後も新たな投資機会を発掘し、最大限に活用していく方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2004年7月1日設定)
決算日	毎年1月5日、7月5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行いません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内

※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用(信託報酬) ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.65%(税抜1.5%)

その他の費用・手数料 監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	: 日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	: マッコリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド
受託会社	: みずほ信託銀行株式会社
販売会社	: 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- 投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に不動産投信を実質的な投資対象としますので、不動産投信の価格の下落や、不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

不動産投信は、不動産や不動産証券化商品に投資して得られる収入や売却益などを収益源としており、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。また、不動産の老朽化や立地条件の変化、火災、自然災害などに伴なう不動産の滅失・毀損などにより、その価格が影響を受ける可能性もあります。不動産投信の財務状況、業績や市況環境が悪化する場合、不動産投信の分配金や価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。

流動性リスク

市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあります。その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

信用リスク

不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「日興グローバルR E I T ファンド（6ヶ月決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **日興アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者 **関東財務局長（金商）第368号**

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつぎ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社S B I 証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社S B I 新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社S B I 証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱UFJ e スマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

日興アセットマネジメントからのお知らせ

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。



アセットマネジメント(am)を
ムーヴ(move)する

社名変更後URL : www.amova-am.com

※社名のみの変更です(主要株主は引き続き三井住友トラストグループ株式会社となります)